

1. 開催日時・出席者等

- 日時：平成 30 年 11 月 19 日（月）13:30~14:50
- 場所：Plug and Play Japan（東京都渋谷区）
- Pitch テーマ：テクノロジーの社会実装に向けて スタートアップ・エコシステムの発展のために
- 招へい者：別紙参照
- 出席者：平井国務大臣
石井企画官（科技）
寺井秘書官、西山秘書官、柴山秘書官

2. 招へい者からの説明

- AI や IoT、VR、シェアリングなど、様々な分野でのスタートアップの活躍が加速している。
- スタートアップのグローバル展開（インバウンド、アウトバウンドとも）を支援する拠点が整備されており、イベントやメディアを通じて企業との繋がりを創出する取り組みが行われている。
- 大企業のオープンイノベーションの取り組みも強化され、スタートアップとの繋がりを創出するために、アクセラレーションプログラムやファンドの提供を積極的に行っている。

3. 質疑応答・議論

以下の意見・提言があった。

- IoT や AI の進展で様々なデータを使ったビジネス展開が広がっているが、データは縦割りのまま。データの利活用を進めるための基盤となるルールやプラットフォームに係る仕組みづくりを国として進めてほしい（データフォーマットの統一化など）。
- パナソニック、ソニー、ホンダの創業者が目指したような、世界一を目指す起業家がまだまだ少ない。時価総額が億円単位ではなく兆円単位を目指す企業を生み出すための環境づくりが重要。
- 世界に勝つためのキャリア形成の一環として起業という選択肢をうまく提供できる仕組みの構築を進めてほしい。突き詰めれば、教育ということに行き当たるため、大学を

はじめとする起業家教育を、国を挙げて推進してほしい。

- 日本は、グローバル展開に向けて、言語の壁が非常に大きい。受験向けの英語ではなく、何となく意味が分かるくらいに会話能力を向上させることと、心理的な障壁をなくすることが重要。
- 海外イベントでは、政治・行政のリーダー層がスタートアップイベントに積極的に参加し、国を挙げて盛り上げようとする熱意を感じる。本日のようなイベントをより広めてもらいたい。また、民間のイベントのメインステージでぜひ登壇いただきたい。
- グローバル化を目指す上では、起業をしようとする者や起業し始めの者に、もっと海外に行かせて視野を広げさせることが求められる。
- 渋谷には、面白い人が集まり、毎日何かしらのイベントなどが行われることで繋がりができる、という価値が見いだせるのではないか。失敗を恐れず挑戦する人の足を引っ張らないこと、挑戦を始める前に叩くことをしないことが重要。

(了)

招へい者：

[スタートアップ経営者]

天沼 聰	代株式会社エアーローゼット表取締役社長兼 CEO
北川 烈	株式会社スマートドライブ株式会社 代表取締役
北川 力	WOTA 株式会社 代表取締役
桑原 智隆	株式会社 Origami 社長室ディレクター
志水 雄一郎	フォースタートアップス株式会社 代表取締役社長
吉兼 周優	株式会社 Azit 代表取締役 CEO 兼 UX デザイナー
西村 洋	株式会社 Synamon 事業開発マネージャー
森岡 康一	Supership 株式会社 代表取締役会長

[エコシステムビルダー]

小田嶋 Alex 太輔	EDGEof Co-CEO /スタートアップ、グローバルハブ
古川 遥夏	一般社団法人 Slush Tokyo CEO
西村 真里子	株式会社 HEART CATCH 代表取締役
豊川 栄二	KDDI 株式会社 ライフデザイン事業企画本部 ビジネスインキュベーション推進部 インキュベーション推進グループ グループリーダー
加藤 由将	東京急行電鉄 事業開発室 プロジェクト推進部 プロジェクトチーム課長補佐
フィリップ・誠慈・ヴィンセント	Plug and Play Japan Managing Partner
矢澤 麻里子	Plug and Play Japan Chief Operating Officer